

生きる力を豊かにたくましく



あいほうぶだより

「医療的ケアの必要な方の短期入所の受け入れ」スタートしました♪

4月より指定管理者となり長年、吹田市の課題でもあり、ご家族の強い切実な要望のあった「医療的ケアの必要な方の短期入所の受け入れ」を6月よりスタートしました。

吹田市には「医療的ケアの必要な方の短期入所の受け入れ」のできる事業所は、ほぼありません。現在医療的ケアを伴う重度の障がい者が、短期入所を利用する場合、遠い施設まで自力で送迎しなければなりません。あいほうぶ吹田の短期入所は1泊ではありますが普段通り朝送迎で通所していただき、その日はそのまま宿泊、翌日も普段通り日中事業所を利用でき、そのまま帰宅という流れとなります。

重度の障がいのある方は多くのケアが必要となります。たとえ1日でも家族以外の支援者によって安心、安全に過ごせる場ができ、ご家族の介護負担の軽減に繋げることができたこと。今後も利用者、ご家族、主治医、



人工呼吸器が必要な方の宿泊の夜間の様子

施設スタッフで相談しながら安心、安全な支援を進めていきます。

当施設をご利用頂けるのは、短期入所支給決定を受けておられる身体障がい手帳・療育手帳所持しておられる方となりますが、介護で悩んでおられたり、当施設を利用したい等興味をもたれた方は気軽に連絡ください。

*医療的ケアとは胃瘻等よりの経管栄養、口腔、鼻腔、気管内吸引、呼吸管理
導尿、ストーマ管理等多岐に渡る。



当日はシリンジやコネクティングチューブ、イリゲーター等の医療的ケアに必要なものがこれだけあります。

藤白台小学校で特別授業



らう時間になると大盛り上がりでした。時間と場所に限りがあったので、各クラス代表者の2名ずつしか体験してもらえませんでした。楽しんでもらえたのは、よくわかりました。

ボッチャ体験の後に設けられた「質問タイム」で、生徒の皆さんからは、主に車椅子についての質問をいただきました。車椅子の重さや値段の事など、普段使用していて、あまり考えない事が多く、少し戸惑う事もありましたが、真剣に耳を傾けてくれる皆さんの姿を見て、本当に嬉しかったです。 T.M

6月13日に藤白台小学校に行きました。卒業してから10年以上が経ち、本当に懐かしい風景でした。体育館で4年生の皆さんに学校へ行っていた時の事や今の生活について話をしました。同じ班の利用者、そして職員(職員のお子さんも藤白台小学校の卒業生)も一緒に行き、現在の事や学校の思い出を話しました。

皆さんはきちんと静かに私たちの話を、聞いてくれました。しかし、やはり小学4年生で、ボッチャ(パラリンピックの公式競技)を体験しても

吹田市社会福祉協議会からの相談で地域の小学生に向けて学校で話をする機会をいただきました。地域の方々に障がいのある方々の生活を伝えていくことはあいほうぷ吹田の事業のひとつです。このような取り組みを引き続きさせていただけばうれしいです。

上記は参加した利用者からの文章です。



水泳教室の開催

身体障がい者手帳をお持ちの方を対象に、あいほうぷ吹田のプールで当施設PT(理学療法士)による水泳教室を行っています。個別に相談をご希望の方は、当施設までご連絡ください。担当職員が対応させていただきます。利用は無料です。

今年度の予定

8月26日(土)・9月9日(土)・10月14日(土)・11月11日(土)・12月9日(土)・1月13日(土)・2月10日(土)・3月9日(土)

主に第2土曜日の10時～



小高さんと一緒に考えよう



小高吉晴さん(57才)
あいほうぶ開所時よりの利用者

好きな言葉	平和
行ってみたい街	沖縄
最近の流行	音楽鑑賞
好きな有名人	坂本龍馬

前回に引き続き、SDGsの目標15の「陸を豊かさを守ろう」に関わるお話です。地域の方から数種類の多肉植物を頂きました。その視点からSDGsについて考えます。

世界の陸地の4割が乾燥地で、そこに人口の35%が暮らしています。国連の発表によると10年後には、世界人口の3人に2人がひっ迫した水環境のもとで暮らすことになる可能性があるそうです。原因はいろいろあるようですが、温暖化もその理由の1つです。そんな中、サボテンのような多肉植物に注目が集まっています。

水をあまり必要としない光合成ができる多肉植物は、砂漠などの乾燥地で栽培が可能です。水をあまり必要としないので、様々な地域で栽培可能です。また、栄養価も高いことが多く、2017年には国連食糧農業機関(FAO)がサボテンの消費を推奨する宣言を出しました。

小高さんもこの頂いた物を大切に施設で育ててみる事にしました。苗の根を見ると、一般の植物よりも根の部分が少ないので、根をそこまで必要としない植物だと分かりました。



大き目の植木鉢に植えて大きく育てます

やっと実現！顔を見ながらの星の会総会



6月2日にあいほうぶ吹田の利用者自治会「星の会」総会を実施しました。今までリモート開催でしたが、コロナが2類から5類となり久しぶりの皆で集まったの総会となりました。特にコロナ禍でも工夫して行う事が出来た「あおぞら市」では「商品を考え作る過程が楽しかった」「自分たちの商品を自分たちで売ることが出来た」「地域の方たちとの交流ができた」と喜びの声が多くあがりました。数年ぶりに開催したあ

いほうぶ祭は利用者だけの参加となりましたが、キッチンカーを呼んだり、ボランティアによるコンサート、夜の花火などが「楽しかった」「またしたい」との感想がありました。また、利用者の要望であった旅行に行くことが出来た班からは「行くことが出来て良かった」と写真を通じた報告があり、喜びが皆に伝わっていました。今年度は会長の任期の最後の年となります。またみんなで星の会でやりたいイベントなどの意見を出し合い、実現に向けて話し合っていきます。



9月16日(土) あいほうぷ祭り 開催予定

*コロナ感染状況では
中止の可能性もあります

プール・介助浴室を開放しています

土曜日、日曜日にあいほうぷ吹田の温水プールと介助浴室を開放しています。
プールや入浴は、リハビリにも効果的ですので、ぜひご利用ください。

利用できる方 ・吹田市内にお住まいの障がい者手帳をお持ちの18歳以上の方とその
介助者。プールは18歳未満の方も利用できますが、18歳以上の介助
者の同伴が必要です。

利用時間 ・10時から16時まで

プール利用について

- ・混雑を避ける為に定員を設けています。
- ・スイミングキャップが必要です。
- ・受付で障がい者手帳を提示し、手続きをしてください。
- ・採暖室と更衣室(シャワー室を含む)の利用は原則1組に限ります。
観覧者はマスクをして、廊下からご覧ください。

介助浴室利用について

- ・介助浴室の利用は、予約制で、原則前日の17時までです。当日午前10
時までのご予約で13時以降のご利用ができます。原則1時間に1組。

多目的ホール・会議室が利用できます(18時~22時、土日9時~22時)

障がい者団体あるいはその支援団体、ボランティア団体などの活動の場、
交流の場として利用できます。(事前登録が必要)

編集後記

七夕の時期になると思
出すことがあります。息子
がまだ小学校低学年だった
数年前。短冊の願いごとに
「セロテープがたくさん欲
しい」と書いてありました。
理由を尋ねると「ヒミツ・・・」
とのこと。五巻ほど渡すと、
全然足りないとのことでした。
息子が足りると判断し
た量を渡した後に、こっそ
り様子を見ると、おもむろ
にセロテープをニメートル
近く伸ばした後にクルクル
と丸めてから、自分の好き
なアニメのキャラクターを
つくっていました。キャラ
クターは全部で七百以上あ
るとのこと。段ボール箱いっ
ぱいにぎっと、五十以上つ
くってありました。既にテー
プ工作のブームは去りまし
たが、今でも記念に大切に
保管しています。☺



吹田市立障害者支援交流センター あいほうぷ吹田

(吹田市指定管理者 社会福祉法人 さつき福祉会)

吹田市千里万博公園12-27

生活介護事業 06-6816-6895 短期入所事業 06-6816-6897

メール i-staff@s5.dion.ne.jp ファックス 06-6816-6898

ホームページ <http://satuki-fuku.sakura.ne.jp/ihope/index.htm>